

## 障害児に影響する音楽

平成 15 年 7 月 11 日

学校教育課程初等教育コース

4 1 0 1 0 2 2 0 郡山 祐介

「障害児と音楽」鈴木渉によると「障害児における音楽教育のほとんどが表現活動で、主に、歌、器楽、リズム運動の 3 つに別れている」と述べられています。

### 活動を通じた結果

#### 音楽的成長

歌が歌えるようになる  
楽器が使える  
リズムがとれる  
しつけがついた  
コミュニケーションがとれるようになった

#### 音楽以外の成長

全身に力がついた  
情緒面が豊かになった  
言葉の発達を促した

などの効果が表れてきていると述べている。このように音楽が及ぼす影響は様々あります。しかし、このような効果が見られたのは確かだがこの活動によって変化が表れたかは定かではありません。そのことを確かめるためにも今後、いろいろな音楽活動に参加していきたいと思っています。また、そこでの疑問や効果の表れた原因について追及していけたら、と思っています。

### 障害児を対象とする理由

- ・ 障害児の身の回りにも音楽は存在し指導においても音楽を使う場面が多く見られるため。
- ・ 障害児も健常児と同様音楽に対する気持ちが変わらないため。
- ・ 発達がゆるやかで効果が分かりやすい。
- ・ アルバイトやボランティアで日頃よく接しているため。

### ~今後~

- ・ 音楽療法や活動に参加する。  
研究したいことを見つける。  
活動内容を学んでいく。
- ・ 最近の先行研究や資料を調べる。